マイマップを作ろう

この防災ガイドブックは、住民の皆様に防災に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的として作成しています。災害に対しては日頃からの備えが重要です。各家庭や地域で次のようなことを確認し、避難場所や避難経路等をマップに記入してください。避難先を検討する際は、41・42ページも参考にしてください。

ステップ 1

■あなたの家はどこですか？

まず、ハザードマップであなたの家を探して、予測されている被害の有無・程度（浸水範囲に入っているか、浸水深は何mか、など）を確かめましょう。

ステップ 2

■あなたの避難先はどこですか？

次に、目標とする避難先を確認して、マークを記入し、避難先までの経路を考えてみましょう。浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。

ステップ 3

■実際に避難経路を歩いてみよう

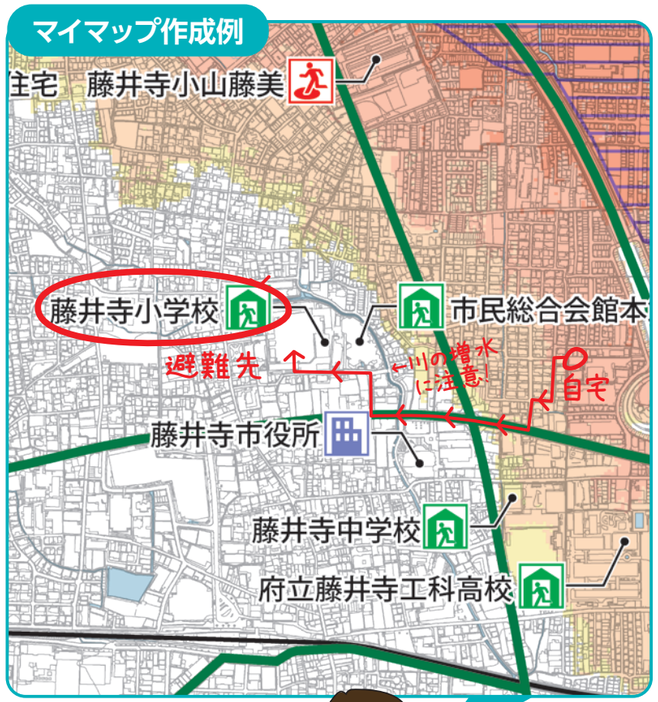
家族みんなで避難先まで歩いてみましょう。ハザードマップを持って危険なところなどをチェックしながら歩き、安全で避難しやすい経路や所要時間を確認しましょう。

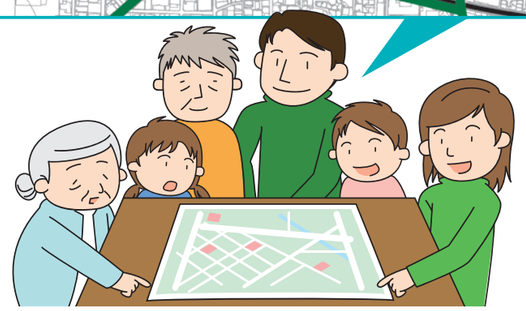
ステップ 4

■ハザードマップに書き込もう

安全に避難所まで行けるよう、わが家の避難地図（マイマップ）をつくります。記入例を参考に、ステップ③で調べたことを書き込んで、一番安全な経路を確かめましょう。

マイマップ作成例





まるごとまちごとハザードマップ事業

大和川や石川が氾濫した場合に想定される最大の浸水深を記した標識を“まちなか”に設置する取組です。大和川河川事務所と大阪府の協力により、一定以上の浸水が想定され、設置を希望する19地区（38か所）に標識（図①参照）を設置しています。また、その後の取組として、浸水想定区域内にある市の広報板80か所に、浸水深を記した標識（図②参照）を設置しました。
“まちなか”でこの標識を見かけた際には、浸水リスクを身近に感じ、水害時の避難などについて考えてみてください。

◀図①
19地区（38か所）に設置の標識

▲図②
市広報板80か所に設置の標識

洪水ハザードマップ

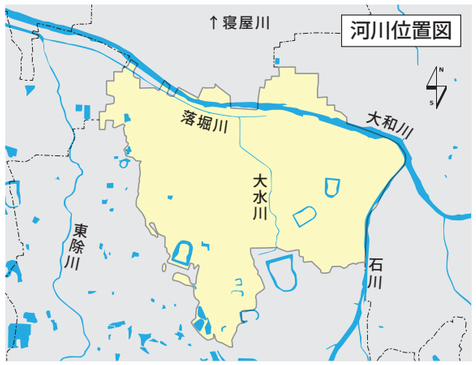
次のページから掲載する洪水ハザードマップは、水防法の規定に基づき想定し得る最大規模の降雨により河川の氾濫があった場合に想定される浸水エリアと最大となる浸水深と想定される浸水継続時間を地図上に示したものです。この防災ガイドブックには、各河川の浸水想定区域を重ね合わせた洪水ハザードマップと河川ごとの浸水想定区域及び浸水継続時間を示すマップを掲載しています。
なお、想定を超える降雨や、支川の氾濫は考慮していないため、着色がない箇所でも浸水する場合や浸水深が実際と異なる場合がありますので、注意してください。
各河川の解析条件等は次のとおりです。

▶大和川　12時間総雨量316mm
（国土交通省近畿地方整備局　大和川河川事務所　平成28年）

▶石川
【本川】24時間総雨量724mm、1時間最大雨量195.5mm
【支川】24時間総雨量1,008mm、1時間最大雨量111 ～ 146mm
（大阪府富田林土木事務所　令和2年）

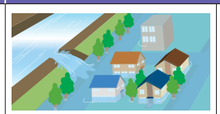
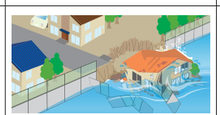
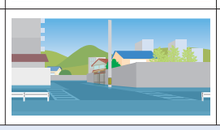
▶東除川・落堀川・大水川
24時間総雨量904.1mm、1時間最大雨量102.5mm
（大阪府富田林土木事務所　令和元年）

▶寝屋川流域　1時間雨量138.1mm
（大阪府寝屋川水系改修工営所　平成31年）



水害発生のおそれがある場合に早期の立退き避難が必要な地域

家屋が倒壊するような氾濫や河岸の侵食が発生するおそれのある区域や、家屋の上の階も水没するおそれのある区域、長時間浸水する区域は、早期の立退き避難が必要な区域です。このような区域では、屋内に留まることにより直ちに命に危険がおよぶおそれがあるため、災害時は避難情報などに従って安全な場所に速やかに避難してください。

指定区域の種類			発生する現象と避難行動	
早期の立退き避難が必要な区域	家屋倒壊等氾濫想定区域	氾濫流 ハザードマップ凡例		河川が氾濫した時に想定される水の流れの速さや深さから木造家屋の倒壊のおそれがあり、早期の立退きが必要。
		河岸侵食 ハザードマップ凡例		洪水の影響で河岸が削られて、家屋が倒壊するおそれがあるため、早期の立退き避難が必要。
	家屋が水没するおそれのある区域（浸水深3m以上）			上の階でも浸水するおそれがあることから早期の立退き避難が必要。
	浸水継続時間が24時間以上続く区域			浸水が長期にわたることが想定されることから早期の立退き避難が必要。浸水深が浅い場合や高層階の居住でも、生活に支障が生じる場合がある。

浸水継続時間

洪水ハザードマップに示した浸水想定区域の浸水が発生した場合に、0.5m以上の浸水が継続すると想定される時間を示しています。
浸水が継続している間はライフラインも止まるおそれがありますので、備蓄品（7ページ参照）を用意しておくか、早めに避難するようにしてください。